

令和4年度（2022年）PSS研修 開催要綱

1. はじめに

日本赤十字社（以下日赤）における緊急時の活動では、診療所の運営、巡回診療また、中長期につながる地域保健活動に加え、昨今は心理社会的支援（以下 PSS: Psychosocial Support/こころのケア）活動も同時に展開することが期待されている。

また、赤十字は緊急救援から中長期支援に向かう中でも PSS 活動を継続して実施することが多く、日赤の「バングラデシュ南部避難民支援事業」の中では、2017 年から継続的に PSS 要員が派遣されている。

今後、日赤の ERU をはじめとする緊急時の活動を展開するうえで、PSS 活動は必要不可欠な活動になり、その担い手となる「PSS 要員」を継続して育成するべく研修を開催することとした。

研修1日目は、心理的社会支援の中でも基礎であり、国際活動を目指すすべての要員に必須とされる手法として、サイコロジカル・ファーストエイド（以下 PFA: Psychological First Aid）を学び、研修2日目は、PSS 要員としての役割や活動についてより実践的に学ぶ。

なお、研修は対面形式で実施し、原則2日間の参加だが、条件に応じて各日のみ参加も認める（詳細は以下参照）。

2. 研修目的

- （1）PFA の行動原則「みる」「きく」「つなぐ」を習得し、行動できる
- （2）ERU PSS 要員として、経験者とともに第1班で派遣可能になる

3. 研修目標

- 1 日目
 - （1）PFA の基本がわかる
 - （2）PFA の実践的アプローチが分かり、行動につなげる
- 2 日目
 - （1）PSS の基本的概念がわかる
 - （2）PSS の実践的アプローチがわかる
 - （3）ERU における PSS 要員の役割を理解し、活動展開のイメージがもてる

4. 研修内容

別紙プログラム参照

5. 研修日程

令和4年9月17日（土）9:00 ～ 令和4年9月18日（日）16:30

6. 研修会場

日本赤十字社医療センター 3階講堂

7. 受講要件

24 名程度

（1）2日間参加

- ① ERU 研修を修了している
- ② 日赤こころのケア研修を修了している（PSS 要員候補者）
- ③ 研修に全日程参加できること（PSS 要員候補者）

- ④その他、PSSに関連する研修に参加した経験があれば、なおよいが必須ではない
(PSS 要員候補者)

(2) 1 日目のみ参加

- ①ERU 研修を修了して PFA 研修を受講した経験がない

(3) 2 日目のみ参加

- ①昨年度日本赤十字社医療センターが実施した「令和3年度 PFA 1 日研修」を受講済みであり、PSS 要員としての活動を目指す

8. 研修会講師 (予定)

日赤愛知医療センター名古屋第二病院	中島 久元
長岡赤十字看護専門学校	平野 美樹子
日本赤十字社 国際部	矢田 結
日本赤十字社医療センター	苫米地 則子

9. 研修参加費

受講料は無料

研修にかかる旅費については、支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となり、おって申請・充当すること

尚、同交付金旅費の扱いについては、平成 26 年 9 月 30 日付人事第 445 号「本社招集の旅費の取扱いについて」が準用されること。

10. 研修会申し込み

別紙様式により、日本赤十字社医療センター国際医療救援部あて、お申込みください。
担当者 日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 苫米地 則子

連絡先 電話 03-3400-0232 (内線 2382) imrd@med.jrc.or.jp

11. 申し込み期限

令和4年 8月4日(木)

12. 受講決定連絡

応募者多数の場合、書類選考とし、8月10日(水)までに所属施設担当者あて事務連絡として通知いたします。

13. 必読文献

- (1) 病院 ERU ハンドブック 第2版 PSS パート P81~82 (日赤国際要員オンラインストレージ); 2 日目参加者
- (2) 病院 ERU ハンドブック 第2版 参考資料 34 (日赤国際要員オンラインストレージ); 2 日目参加者
- (3) 心理的応急処置 フィールドガイド WHO 2011 (1 日目のみの方)
https://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/pdf/who_pfa_guide.pdf
- (4) 災害時のこころのケア 日本赤十字社
http://www.jrc.or.jp/vcms_lf/care2.pdf